

提携活動

■ Neurimmune社と神経変性疾患領域で新たな創薬提携契約を締結

2022年1月、スイスNeurimmune社と、同社独自の抗体創出アプローチであるReverse Translational Medicine™(以下、RTM™)技術を活用し、神経変性疾患領域における新たな創薬標的に対する抗体医薬品の創製を目的とした創薬提携契約を締結しました。

当社とNeurimmune社は、2017年11月に同領域での創薬提携契約を締結し、RTM™技術を活用してヒトモノクローナル抗体の創製に取り組んでいます。新たな提携を通じて、中枢神経系疾患ポートフォリオを拡充し、神経変性疾患の患者さんに革新的な医薬品をお届けできるように取り組んでいきます。

■ Iktos社と創薬提携契約を締結

2022年3月、仏Iktos社と、同社独自の人工知能(AI)創薬技術を活用して、新規の低分子化合物を創製することを目的とした創薬提携契約を締結しました。Iktos社は、2016年10月に設立された化学研究、医薬品化学および新薬設計に応用されるAIソリューションの開発を専門とするスタートアップ企業です。今回の契約で、Iktos社は、新規の化学構造を設計するAI創薬技術を駆使し、当社が提示する創薬標的に対する革新的な低分子化合物を創製します。当社は、創製された低分子化合物を全世界で独占的に開発・商業化する権利を取得しました。



Iktos社

■ Numab社と開発・ライセンス契約を締結

2022年3月、スイスNumab Therapeutics AG社(以下、ニューマブ社)と、2017年に締結したがん免疫領域における多重特異性抗体の創製に関する契約のオプション権を行使し、新たに開発・ライセンス契約を締結しました。今回の契約締結に伴い、新規のがん免疫療法の標的に対する多重特異性抗体の知的財産権および当該抗体を全世界で独占的に開発・商業化する権利を

取得しました。当社は、ニューマブ社が有する多重特異性抗体作製プラットフォームを利用することで、新たな新薬候補抗体の創製が可能になるものと期待しています。なお、ニューマブ社とは2020年3月にも今回の契約対象とは異なる標的に対する多重特異性抗体を創製するための創薬提携契約およびオプション契約を締結しています。



Numab社

投資活動および委託契約

■ 株式会社ビーエムジーへ出資

2021年12月、生体内で分解・吸収される医療用接着剤であるLYDEX[®]の開発に取り組む京都大学発のバイオマテリアルベンチャー企業、株式会社ビーエムジーへの出資を行いました。

これまでの医療用医薬品の分野のみならず、ヘルスケア分野への投資にも積極的に取り組み、ベンチャー企業に対する投資や協業を通じて、健康寿命の延伸と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

■ オプジーボの臨床研究の効率化に向け、PRIME-R社と業務委託契約を締結

2022年2月、ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社と共同で、新医療リアルワールドデータ研究機構株式会社（以下、PRIME-R社）と、がん日常診療におけるリアルワールドデータ^{*}を標準化／構造化して管理・統合するPRIME-R社の入力支援システム「CyberOncology[®]」を活用し、胃がんの患者さんを対象としたオプジーボと化学療法との併用療法による企業主導型の大規模多機関共同臨床研究を実施する業務委託契約を締結しました。CyberOncology[®]を導入することで、医療機関の入力負担の軽減、臨床研究データの精度向上およびデータ集計・分析の迅速化が期待されます。

^{*}医療現場から得られる電子カルテデータ、薬剤情報、疾患登録データ等の医療情報

事業ドメインの拡大

健康食品・機能性表示食品事業に進出

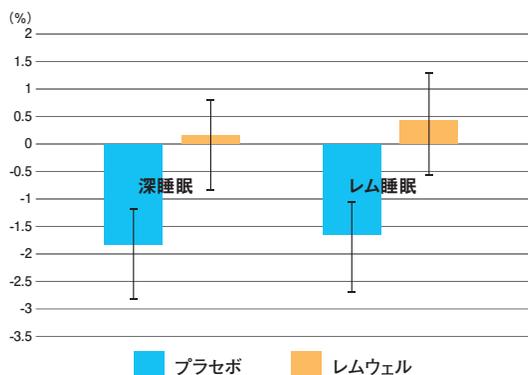
2022年3月、当社子会社の小野薬品ヘルスケア株式会社（2021年2月設立）が、睡眠サプリメント「REMWEELL（レムウエル）」を新発売しました。DHA、EPA、DAGE（ジアシルグリセリルエーテル）を含み、深睡眠とレム睡眠の割合を増やすことで睡眠の質を向上させることが確認された日本初[※]の睡眠サプリメントです。

※臨床試験済み機能性表示食品で日本初
（TPCマーケティングリサーチ株式会社調べ 2022年4月）

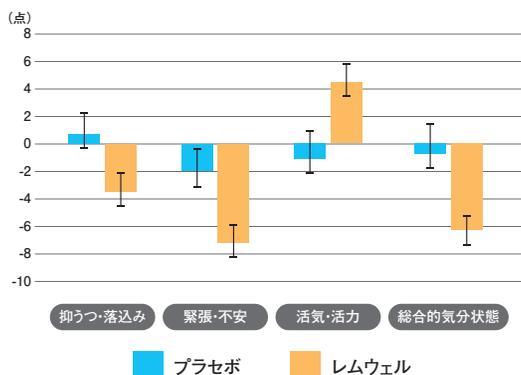


生理活性脂質の研究から多くのプロスタグランジン製剤を創製してきた当社と、水産物由来の機能性素材の研究開発に優れたマルハニチロ株式会社が協力し、開発しました。下記の2つの臨床試験で有用性を確認しております。

各睡眠ステージ割合 12週の変化量：レムウエル vs. プラセボ



POMS2 成人用短縮版 12週の変化量：レムウエル vs. プラセボ



発売に合わせて放映を開始したテレビCMでは、女優の中村ゆりさんを起用。3月には東京都内で中村さんを招き、記者発表会を開催しました。

レムウェルは、“脂質の力で、あなたの健康によりそう”をミッションに、現代人に不足しがちな良質な脂質をとることで、本来の健康なカラダを目指すことをコンセプトとした「Lipid-supply(リピドサプリ)」シリーズの第一弾となる商品です。今後も健康に貢献する商品の開発を進めてまいります。



新発売記者会見時の小野薬品ヘルスケア株式会社の野田康成社長(左)と中村ゆりさん

【レムウェル概要】

価格 : 7,020円(税込み)

容器・容量 : パウチ180粒入り(1日摂取目安量:6粒程度)

販売方法 : インターネット通信販売(小野薬品ヘルスケア公式オンラインショップ、Amazon、PayPayモール)

【3つの特長】

1. 日本初^{※1}深睡眠とレム睡眠を増加させ、睡眠の質を向上
2. 睡眠の質の向上とともに、一時的な「緊張感、不安感、気分の落ち込み」や「活気・活力」も改善^{※2}
3. 独自成分であるDHA、EPA、DAGEを配合

※1 臨床試験済み機能性表示食品で日本初(TPCマーケティングリサーチ株式会社調べ 2022年4月)

※2 一時的に活気・活力が低下している方

■ [小野薬品ヘルスケア公式オンラインショップ](#) (レムウェルはこちらからご購入いただけます) ▶



人財育成

企業価値を向上させ、持続的に成長するためには、「人的資本の拡充」が重要なテーマです。当社は、社員のキャリア形成促進、人事交流による活性化・競争力向上を目的に公募制度を拡充するとともに、社内チャレンジジョブ制度を導入しました。

■ 公募制度の拡充

2022年3月、各部署が社内ですべての人材を募集し、応募した社員とのマッチングによる異動を行う公募制度の応募条件を緩和しました。従来は「入社歴3年以上、同じ組織で3年以上勤務」の社員が対象でしたが、「同じ組織で3年以上勤務」のルールを撤廃することで、応募できる社員は全体の3割(昨年)から8割以上に増えることになります。

また、求人枠については「各本部、直轄部署ごとに1名」となっていた人数の条件をなくしたほか、求人部署が求めるスキルや人財像、メンバー構成などを紹介するスライド資料を作るようにして、社員が参加しやすいように改定しました。

■ 社内チャレンジジョブ制度の導入

2022年4月、他部署の業務に触れられる「社内チャレンジジョブ制度」を導入しました。

この制度は、「別の分野の仕事にチャレンジしたい」、「他部門を知り、もっと視野を広げたい」との現場社員の声や、「様々な視点からの意見がほしいが、すぐには人を増やせない」との受け入れ先の部署の声を踏まえたものです。社員は現在の部署に籍を置きながら、所定労働時間の20%を使って、別の部署での業務に挑戦することができます。例えば、80%は九州でMR(医薬情報担当者)として業務に就き、20%は本社の他部署でオンライン会議システムを活用しながら働くイメージです。

2022年度は部署を限定して試験運用を進める予定です。

PD-1特許に関する訴訟の和解成立／小野薬品・本庶 記念研究基金の設立

2021年11月、京都大学の本庶佑氏より提起されたPD-1特許に係る訴訟について和解が成立しました。和解では、当社の自由な意思に基づき、京都大学内に設立される基金「小野薬品・本庶 記念研究基金」に230億円を寄付することなどが盛り込まれました。

12月には「小野薬品・本庶 記念研究基金」設立の記者会見が京都大学で行われました。京都大学の湊長博総長は「基金設立は、京都大学の独創的な基礎研究と、小野

薬品工業による粘り強い開発と事業化努力により、画期的ながん治療薬の実現に至ったという産学連携活動の目覚ましい成果に基づくもの。今回の基金は我が国の将来の学術研究の推進を担う優秀な若手研究者の育成と研究環境の強化に、長期的な視点から、最大限有効活用させていただく」とコメントされています。

当社にとって、世界トップクラスのアカデミアとのオープンイノベーションは創薬の生命線です。がん免疫療法薬では予想以上の成功が得られたため、アカデミアへの還元・貢献を考えておりましたが、今回の基金設立で我が国の産学連携の新しい形を示せたと考えています。今後、京都大学における生命科学を主とする自然科学分野で、若手研究者が活躍できる環境が整備され、我が国の医学、薬学研究のさらなる発展につながることを期待しています。



基金設立の記者会見に出席した(左から)京都大学の湊長博総長、相良社長

CSR活動

■ 「DJSI World」および「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に2年連続選定

2021年11月、当社は世界の代表的なESG(Environment、Social、Governance)投資指標であるDow Jones Sustainability Indices(DJSI)において「DJSI World Index」および「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に2年連続で選定されました。DJSIは、米国のS&P Dow Jones社とスイスのRobecoSAM社が共同開発した株式指数で、企業の経済・環境・社会面の3つの側面から企業活動を分析し、持続可能性(サステナビリティ)に優れた企業が構成銘柄として選定されます。

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

■ CDP 2021において「気候変動」および「水セキュリティ」の2分野で最高評価Aリストに選定

2021年12月、国際環境非営利団体であるCDPより、気候変動および水セキュリティに対する対策が評価され、CDP 2021「気候変動」および「水セキュリティ」の2分野において、権威あるAリストに選定されました。「気候変動」においては4年連続のAリスト選定、「水セキュリティ」においては初めてのAリスト選定となります。



CLIMATE WATER

当社は、中長期環境ビジョン(ECO VISION 2050)のもと、「脱炭素社会の実現」、「水循環社会の実現」および「資源循環社会の実現」を重要項目として定め、事業活動に伴う温室効果ガスの排出量、水使用量および廃棄物の削減に向けて取り組んでいます。今後も革新的な医薬品の創製によって社会に貢献するとともに、取引先と協働しつつ、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

コーポレートムービーを制作

2021年12月、当社を紹介するコーポレートムービーを一新し、公開しました。1717年の創業から現在まで300年以上にわたり、脈々と受け継がれてきた「病に苦しむ人を救いたい」という当社の想いと、方向は今も変わらないことを「羅針盤」で表現しています。

今回のコーポレートムービーではご覧いただきやすいように、「歴史・ビジョン」「研究開発」「サステナビリティ」と、それぞれの要素を凝縮した「ダイジェスト版」の計4本の映像を新たに制作し、それぞれ3分程度の内容にしました。全映像に字幕をつけたほか、海外の方にもご覧いただけるよう、各ムービーの英語ナレーション版もご用意しています。当社ホームページのほか、動画共有サイト「YouTube」の公式チャンネルからも視聴いただけますので、ぜひご覧ください。



「ダイジェスト版」



「歴史・ビジョン」編



「研究開発」編



「サステナビリティ」編



コーポレートムービー
<https://www.ono.co.jp/company/pr.html>



公式YouTubeチャンネル
(企業CMもご覧いただけます)